



印刷業界でのサーキュラーエコノミーの取組

近年、SDGsやサステナビリティへの関心が高まる中、当社では2024年3月に「印刷業界における廃棄物のサーキュラーエコノミー実現に向けた実証実験の開始」をNews Releaseし、まずは、当社事業所にて印刷インキ製造の工程で発生するインキ、溶剤、紙、フィルム、容器などの産業廃棄物の再資源化を推し進めてきました。

2024年の成果をもとに、2025年は印刷業界での循環型社会の実現といった次のステージに向けた取組を進めています。

実証実験の対象となっている資源物の一例



米原市にある当社滋賀工場では次のような取組を展開しています。

木質廃棄物のリサイクル

滋賀工場で発生する廃木質パレットを地域企業と協働し木材チップ化。紙製品や建築用ボード、木質バイオマス発電の燃料として再利用。



廃木質パレット



木材チップ

金属スクラップのリサイクル

製品の製造や物流過程で発生する金属廃棄物をパートナー企業と連携して鉄鋼資源として再生。



鉄鋼資源



ドラム缶

これらの取組はいずれも、当社が構築した再資源化スキームになります。

今後も当社グループは循環型・脱炭素社会の実現に貢献し、印刷・パッケージ産業でのサーキュラーエコノミーの取組をさらに推進して、印刷業界での環境リーディングカンパニーを目指してまいります。

サカタインクス株式会社



住所:【本社】大阪府中央区淡路町4-2-13 (アーバンネット 御堂筋ビル)

【滋賀工場】米原市梅ヶ原2060

TEL:06-6447-5811 HP:<https://www.inx.co.jp/>

設立:大正9年(1920年)9月 資本金:7,472百万円

業種:各種印刷インキ・補助剤の製造・販売、印刷用・製版用機材の販売、電子機器・情報関連機材の販売、機能性材料関連品の製造・販売、輸出入

サカタインクスグループは、2024年より印刷業界における廃棄物の再資源化に向けた取組を相次いで実施してまいりました。今後もサーキュラーエコノミーの推進をさらに加速させ、印刷業界全体の環境負荷低減と持続可能性の向上につなげることで、業界がともに成長できる循環型の仕組み作りを目指しております。



コーポレート
リレーション本部
コーポレート
コミュニケーション部
藤本真幸 さん